（様式１）　　平成２２年度体力向上推進プラン（最終報告）

学校名　大和郡山市立昭和小学校

校長名　植松　明夫　　印

１　プラン名

飛び出せ！昭和っ子

２　達成目標

平成２２年４月より「飛び出せ！昭和っ子」の取り組みを始め、１２月には体力テストの結果で長座体前屈と５０メートル走の記録を全国平均以上にまで引き上げたい。平成２３年４月には握力や上体起こしの記録も全国平均を上回るようにしたい。

３　取組の概要

・　一年を通して外遊びを奨励した。遊具を設置し、毎月外遊び大会を開催した。（別表）
・　教員の体育指導力向上の為に「体育授業指導資料」を作成し全教員に配布した。その資料を使い職員研修を行った。また体育科の校内研究授業を行った。
・　各学級に手づくりの長座体前屈測定器を設置し、雨の日の休み時間を中心に測定した。
・「外遊び、みんなでチャレンジ！」に参加した。
・　全学年で体力・運動能力調査に参加し、年に２回（４月と１２月）の体力テストを行った。

4　実施体制

体力向上推進教員を中心に保健体育部会で計画を立案し、全職員で各取組を実施していった。外遊び大会は、委員会単位で高学年の児童を中心に企画運営した。

5　成果

別紙参照

6　検証（別紙グラフ参照）

休み時間に児童が楽しめる外遊びを提案したり、職員研修によって体育授業の中で運動量を確保しようと努めた。12 月に実施したスポーツテストでは、記録の伸びが見られ、体力が向上しているといえる。しかしながら、まだまだ全国平均には及ばない種目も多い。これは、児童に「休み時間は運動場に出て遊ぶ」という意識が出てきたものの、自発的に外遊びをする習慣が定着しきれていないために、充分な運動量が確保できなかったことが理由と考えられる。また、運動量の確保のため、教職員は体育授業に工夫を凝らしたが、体育授業の質や運動量がまだまだ不十分であることも一因と考えられる。一方、あらゆる機会をとらえて本校児童の現状を発信してきたことで、保護者も子どもの現状をしっかりと認識するようになった。それにより、地域でも何らかのサポートをしようという意識が生まれており、次年度は地域からの協力も組織化し、引き続きこの取組を進めていきたい。